

# 令和4年度 事務事業評価（議会） （令和3年度決算）

## 分科会評価結果

分科会名	文教分科会					整理番号	文教－1			
事務事業名	不登校児童生徒支援事業									
評価区分 (事務事業の方向性)	①	拡充	2	継続	3	改善の上 で継続	4	終期設定 し終了	5	休止・廃止

### 〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、学校に登校はできるものの教室には入室できない児童生徒が教室復帰したり、登校に不安を抱える児童生徒が安心して登校したりできるよう支援教室において専任のスタッフが支援・援助等を行うものである。

生徒指導や教育相談に関する専門的な知識と技能を備えた退職教職員等が、スクールライフサポーターとして支援教室に常駐することにより、支援教室に登校する児童生徒個々の状況に応じ、学習面、生活面におけるきめ細かな支援・援助に加え、進路相談や保護者との教育相談が可能となることから、本事業の必要性は高いと認められる。

今後は、児童生徒が不登校となる要因等の調査に努めるとともに、地域人材の掘り起こし等教育現場における人材を確保する中で、全校において児童生徒へのきめ細かな支援・援助が可能となるよう、スクールライフサポーターの配置校を増やしていく必要があることから拡充とした。